

1月、左脳内出血にて入院となり、1カ月後 AVM の全摘手術を行なった。手術体位は仰臥位で頭部を挙上前屈し、bifrontal craniotomy の後、まず contralateral interhemispheric approach にて同 fissure を広く開放し、PA, CA から nidus に流入する分枝を切離し、PA を完全に free とした。次いで左前頭葉内の血腫腔より nidus の左側壁をたどり、HA, medial LSA を凝固切断し、nidus の剝離を進め draining vein を結紮して AVM を一塊として摘出した。術後経過は良好で、神経脱落症状を残さず退院した。手術手技をビデオにて供覧する。

A-29) Monitoring が有用であった High Flow AVM の全摘出例

桜井 芳明・佐藤 博雄
 嘉山 孝正・新妻 博 (国立仙台病院)
 杉田 京一・高橋 康 (脳神経外科)
 西野 晶子

High flow AVM 摘出術に際し Normal pressure break through 現象の存在が報告されている。最近我々は術中の諸モニターの保障により、後遺症なく全摘に成功した high flow AVM の一例を経験したので報告する。症例は突然の右視野半分の一過性の光の点滅を主訴に精査目的に入院した49歳男性である。脳血管写にて左後頭葉に中大脳動脈より栄養された $5 \times 5 \times 6$ cm の静脈瘤を伴う AVM が発見され、周囲脳動脈群は狭小化し、造影時間も延長し、所謂 high flow AVM の血管像を呈していた。術中局所脳循環、組織酸素、炭酸ガス分圧及び SEP, VEP をモニターした。栄養血管の血流一時遮断による諸データの変化を観察したが、わずかに脳代謝の悪化を示すのみで、脳循環量の増加も少なく、また SEP, VEP も正常に保たれ、AVM の全摘に踏切った。術中 break through 現象を思わせる脳腫張、出血もなく、全摘に成功した。この術中ビデオを供覧する。

A-30) クモ膜下出血にて発症し、その後脳血管攣縮を合併した巨大脳動静脈奇形の摘出例

大滝 雅文・稲葉 憲一 (旭川脳神経外科病院)
 端 和夫 (札幌医科大学脳神経外科)

SAH で発症した AVM が、脳血管攣縮を呈することは比較的稀であり、その臨床像を詳細に報告した例も少ない。今回、私達はこのような脳血管攣縮を呈した巨大 AVM を、攣縮存在下に極めて容易に摘出し得たの

で、その AG 所見、手術所見を中心に呈示する。

症例は39才男性。飲酒中の突然の頭痛で発症。CT で脳底槽の広範な SAH を認めた。AG では、左側頭葉後部に直径 6cm の AVM を認めたが、脳動脈瘤は存在しなかった。第7病日より、AVM 周囲に CT 上低吸収域が出現し、失見当識を呈した。第13病日の AG では、内頸動脈及び流入動脈である中・後大脳動脈の著明な攣縮が認められ、nidus の造影は不良であった。一方、流入動脈に関与しない中大脳動脈前半部は、攣縮も少なく造影が良好となった。翌日、AVM の摘出を行った。nidus 周囲の細流入動脈も容易に凝固止血でき、短時間で摘出し得た。術後、神経症状の増悪はみられなかった。

A-31) Glioma の同胞発生例

高浜 秀俊・佐藤 清 (山形大学)
 山田 潔忠・中井 晶 (脳神経外科)

Glioma の兄弟発生例の報告は少ない。私達は、同胞発生例を2家族で経験したので若干の文献的考察を加えて報告する。

[I] 兄妹例・・・共に Medulloblastoma で、兄は1歳の時、5歳年下の妹は4歳の時に発症した。

[II] 姉妹例・・・2人姉妹で両親はいとこ結婚である。10歳の妹は Medulloblastoma であり、ほぼ同時期に発症した14歳の姉は脳梁を中心に発生した Anaplastic astrocytoma である。姉妹とも Recklinghausen 病 (R病) であるが、親族中姉妹以外にはR病はいない。

Medulloblastoma の同胞発生例は極めて少なく、私達の渉猟し得た限りでは自験例を含めて12同胞例の報告をみるにすぎない。一方、R病に脳腫瘍が合併し易いことはよく知られているも、同胞発生例の報告は少ない。

今後、疫学的検討・遺伝子解析により病因が明らかになるものと思われる。

A-32) 披膜を有した限局性 Astrocytoma の1例

久保 直彦・長野 隆之 (岩手医科大学)
 斎木 巖・鳴海 新 (脳神経外科)
 日高 徹雄・金谷 春之

Astrocytoma は一般に瀰慢性浸潤性に発育する。我々は、被膜を有し、限局した astrocytoma を経験した。症例は18歳男子にて、視力異常、頭痛、嘔吐など頭蓋内圧亢進症状にて発症。CT にて左頭頂部に境界明瞭な ring enhancement される腫瘍を認めた。脳血管写所見では、腫瘍外縁を示す tumor vessels および tumor stain